令和８年度第７回指定管理者審査委員会　議事録

日　　時　　令和８年 10 月６日（火）　午前９時～午前 10 時 40 分
場　　所　　日進市役所本庁舎４階　第１会議室
出席委員　　亀倉正彦、村上康司、黒田忠晃、平家勉、小金澤衣里（敬称略）
欠席委員　　なし
事 務 局　　川田敏章（企画政策課長）、味岡正樹（同課課長補佐）、秋山里奈（同課主査）、大西日奈子（同課主任）
説明の為に出席した者　　大鐘徹也（学び支援課長）、栗﨑明子（同課主幹）、鈴木真也（同課主任主査）
傍聴の可否　不可（日進市情報公開条例第７条第３号に該当する事項を審議するため。）
議　　題　　日進市生涯学習プラザの指定管理者の候補者の審査（第２次審査）について

発　言　者	内　　容
事　務　局	１　開会（午前９時）
	２　議題 日進市生涯学習プラザの指定管理者の候補者の審査について
日進アシスト株式会社	（事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答）
	（主な質疑応答） 質問：AI の活用や DX を全社的に進めていくとのことだが、生涯学習プラザのなかでこれに対する予算は予算書に計上されているか。仮に全社的に進める上で、指定管理が取れない施設が出てくると収入が減るが、どうやって運営していくのか。 予算書では指定管理料が各年度変わっていないが、５年間の金額が変わっていない理由と、本社経費が年度によってかなり異なるが、大丈夫か。 回答：今後、どの施設においても導入する想定である。予算は自社負担で実施するため、指定管理料への影響はない。自己負担なので、仮に指定管理者として選定されない施設が出たとしても影響がないと考えている。 消耗品費等については値上がりを見込んでいないが、５年間の総額で最終的には考えている。 質問：AI 等を自社負担で行っていくとのことだが、人員が増加しており、効率化につながっていないのではないか。 回答：最低２名の配置が仕様で定められている。いずれにしても、１名体制での運営は安全面等を考慮すると望ましくない。AI はプラス要因。他の大きい施設では人員を減らすことはできるかもしれないと考えている。 質問：前回審査会時の事前質問票でも確認したが、駐車スペースが減少している点について伺いたい。 回答：現在は４４台分しかなく、５台分を返還している。フェンスを外して使用で

発　言　者	内　　容
	きなかったスペースは使用可能になったものの、隣の民家との境界や段差の関係で生涯学習プラザ職員等関係者が使用することとしている。浅田公民館の臨時駐車場も活用しながら対応している。 質問：空調の不調はどうか。 回答：生涯学習プラザはプレハブ構造であり、２階は夏場、特に暑い。収支予算書に修繕費の項目はあるが、業者見積が高額になり精算項目となっている修繕費では賄えない。学び支援課に相談はしている。 質問：和室有効活用の案があるが、元々和室の利用は少ないのか。和室を好んで使用していた人たちがいるのでは。 回答：和室は明らかに稼働率が低い。平均稼働率 29.6％で一番低い。広さの面からも、多人数で利用できるものではない。個人利用とすることで、活用の可能性が広がると考えている。 質問：「次代を担う人材を育てる」とは、具体的にどのような取組を想定しているか。 回答：生涯学習プラザは高齢者利用が非常に多い。比較的安価に利用できる、昔ながらの施設である。今年度はダンス等で若年層の利用が少しずつ増えている。 質問：託児体制の拡充とあるが、利用実績はどうなっているか。 回答：感覚的な把握ではあるが、定期的な利用がある約 65 団体のうち、１、２団体程度と思われる。 質問：２時間貸し出しを提案されているが、当初の予約受付では２時間単位の貸出しを行わないとのことだが、空き時間が生じるのではないか。 回答：当初の貸出しは４時間単位とする。利用日の８日前以降はキャンセルや変更ができない。２時間単位での貸出しを希望する利用者の声が非常に多かった。対応策を考えた結果である。 にっしんマスプロ市民会館で同様の方法を実施中であり、参考にした。 質問：２時間貸し柔軟性があって良いが、２時間の利用であっても、４時間分の利用料金となるのか。 回答：料金は４時間分の利用料金の２分の１を適用することを考えている。 質問：プレハブ構造とのことで空調の不調があるが、その他に課題と認識している点はあるか。老朽化に伴い抜本的な改修等を行うとした場合、利用者ニーズ等も踏まえ、どのように考えているか。 回答：現時点で大きな課題があるとは認識していないが、階段の利用が困難であるとの施設面に関する意見をいただいている。プレハブ構造ということもあり、施設の将来性が不明な中、自社で投資すべきか判断が難しい。
	３　答申
	（閉会）　午前 10 時 40 分